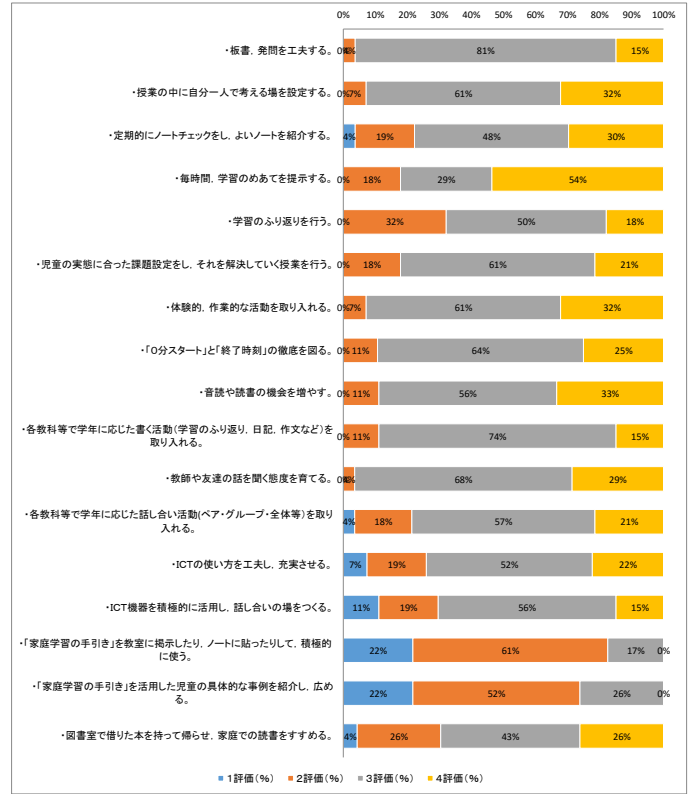
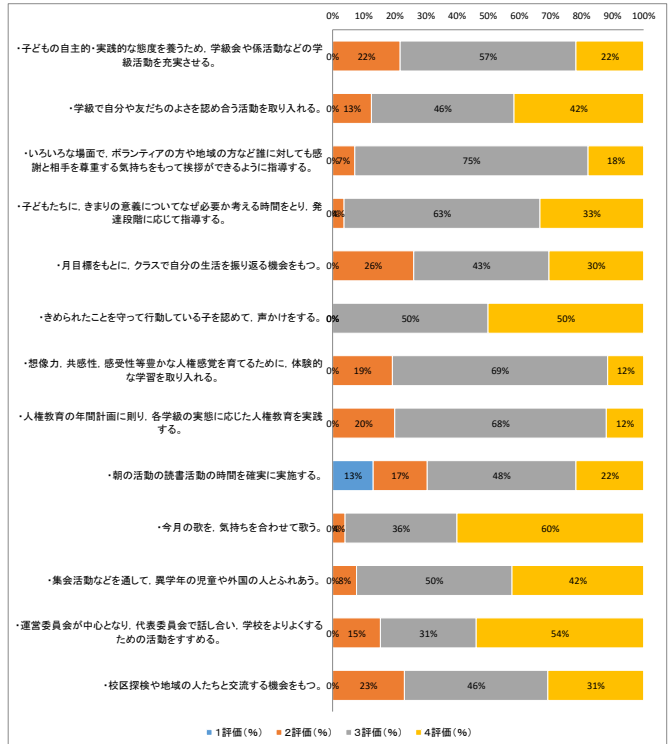


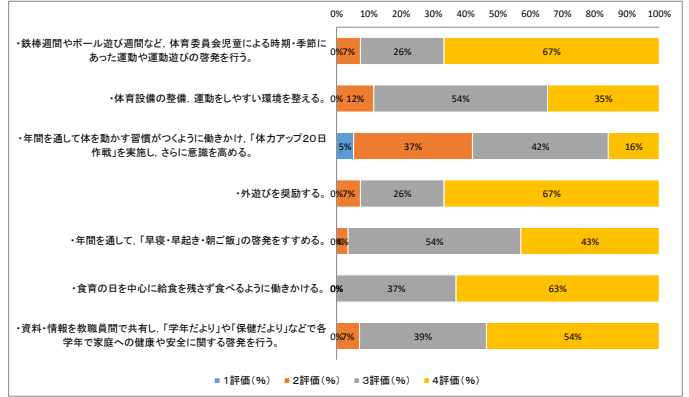
		I					
具体的取り組み事項		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
よく分かる授業の工夫	・板書、発問を工夫する。	0%	4%	81%	15%	4%	96%
	・授業の中に自分一人で考える場を設定する。	0%	7%	61%	32%	7%	93%
	・定期的にノートチェックをし、よいノートを紹介する。	4%	19%	48%	30%	22%	78%
	・毎時間、学習のめあてを提示する。	0%	18%	29%	54%	18%	82%
	・学習のふり返しを行う。	0%	32%	50%	18%	32%	68%
	・児童の実態に合った課題設定をし、それを解決していく授業を行う。	0%	18%	61%	21%	18%	82%
	・体験的、作業的な活動を取り入れる。	0%	7%	61%	32%	7%	93%
	・「0分スタート」と「終了時刻」の徹底を図る。	0%	11%	64%	25%	11%	89%
	読む・書く等の言語活動の充実	・音読や読書の機会を増やす。	0%	11%	56%	33%	11%
・各教科等で学年に応じた書く活動(学習のふり返し、日記、作文など)を取り入れる。		0%	11%	74%	15%	11%	89%
・教師や友達の話聞く態度を育てる。		0%	4%	68%	29%	4%	96%
・各教科等で学年に応じた話し合い活動(ペア・グループ・全体等)を取り入れる。		4%	18%	57%	21%	21%	79%
ICTを活用した効果的な指導	・ICTの使い方を工夫し、充実させる。	7%	19%	52%	22%	26%	74%
	・ICT機器を積極的に活用し、話し合いの場をつくる。	11%	19%	56%	15%	30%	70%
家庭学習のすすめ	・「家庭学習の手引き」を教室に掲示したり、ノートに貼ったりして、積極的に使う。	22%	61%	17%	0%	83%	17%
	・「家庭学習の手引き」を活用した児童の具体的な事例を紹介し、広める。	22%	52%	26%	0%	74%	26%
	・図書室で借りた本を持って帰らせ、家庭での読書をすすめる。	4%	26%	43%	26%	30%	70%



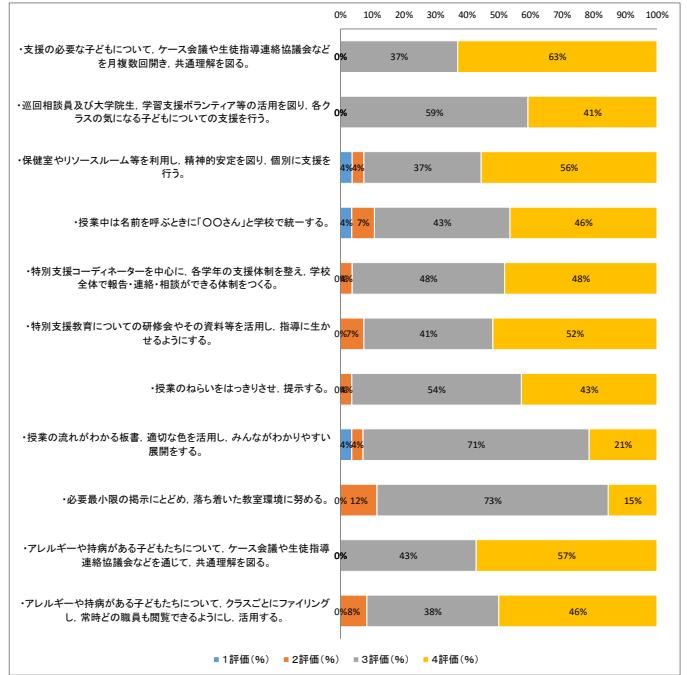
2		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
具体的取り組み事項							
自分 も他 の人 も大 切に、互 いに 認め 合え る人 間関	・子どもの自主的・実践的な態度を養うため、学級会や係活動などの学級活動を充実させる。	0%	22%	57%	22%	22%	78%
	・学級で自分や友だちのよさを認め合う活動を取り入れる。	0%	13%	46%	42%	13%	88%
	・いろいろな場面で、ボランティアの方や地域の方など誰に対しても感謝と相手を尊重する気持ちをもって挨拶ができるように指導する。	0%	7%	75%	18%	7%	93%
規律 や規 範意 識の 高揚	・子どもたちに、きまりの意義についてなぜ必要か考える時間をとり、発達段階に応じて指導する。	0%	4%	63%	33%	4%	96%
	・月目標をもとに、クラスで自分の生活を振り返る機会をもつ。	0%	26%	43%	30%	26%	74%
	・きめられたことを守って行動している子を認めて、声かけをする。	0%	0%	50%	50%	0%	100%
人権 感覚・ 人権 尊重 の精 神の 涵養	・想像力、共感性、感受性等豊かな人権感覚を育てるために、体験的な学習を取り入れる。	0%	19%	69%	12%	19%	81%
	・人権教育の年間計画に則り、各学級の実態に応じた人権教育を実践する。	0%	20%	68%	12%	20%	80%
体験 活動 の推 進	・朝の活動の読書活動の時間を確実に実施する。	13%	17%	48%	22%	30%	70%
	・今月の歌を、気持ちを合わせて歌う。	0%	4%	36%	60%	4%	96%
	・集会活動などを通して、異学年の児童や外国の人とふれあう。	0%	8%	50%	42%	8%	92%
	・運営委員会が中心となり、代表委員会で話し合い、学校をよりよくするための活動をすすめる。	0%	15%	31%	54%	15%	85%
	・校区探検や地域の人たちと交流する機会をもつ。	0%	23%	46%	31%	23%	77%



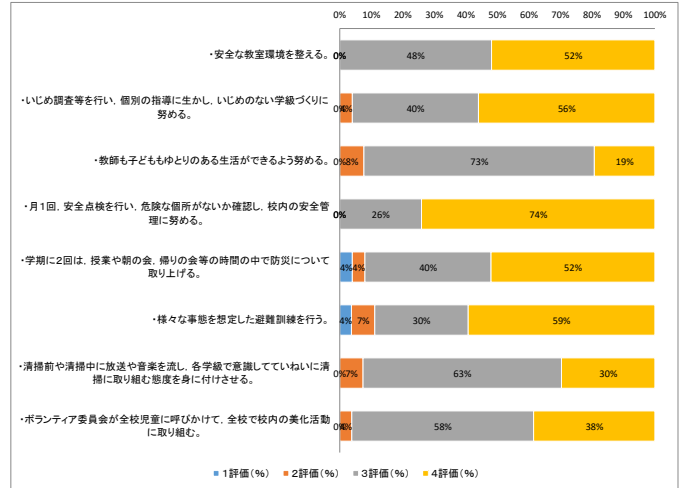
3		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
運動のおもしろさを感じる体育授業の工夫	・鉄棒週間やボール遊び週間など、体育委員会児童による時期・季節にあった運動や運動遊びの啓発を行う。	0%	7%	26%	67%	7%	93%
	・体育設備の整備、運動をしやすい環境を整える。	0%	12%	54%	35%	12%	88%
運動習慣づくり	・年間を通して体を動かす習慣がつくように働きかけ、「体力アップ20日作戦」を実施し、さらに意識を高める。	5%	37%	42%	16%	42%	58%
	・外遊びを奨励する。	0%	7%	26%	67%	7%	93%
基本的な生活習慣の育成	・年間を通して、「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発をすすめる。	0%	4%	54%	43%	4%	96%
	・食育の日を中心に給食を残さず食べるように働きかける。	0%	0%	37%	63%	0%	100%
保健・食育の充実	・資料・情報を教職員間で共有し、「学年だより」や「保健だより」などで各学年で家庭への健康や安全に関する啓発を行う。	0%	7%	39%	54%	7%	93%



4		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
具体的取り組み事項							
一人一人の実態に応じた指導の工夫	・支援の必要な子どもについて、ケース会議や生徒指導連絡協議会などを月複数回開き、共通理解を図る。	0%	0%	37%	63%	0%	100%
	・巡回相談員及び大学院生、学習支援ボランティア等の活用を図り、各クラスの気になる子どもについての支援を行う。	0%	0%	59%	41%	0%	100%
	・保健室やリソースルーム等を利用し、精神的安定を図り、個別に支援を行う。	4%	4%	37%	56%	7%	93%
特別支援教育の充実	・授業中は名前を呼ぶときに「〇〇さん」と学校で統一する。	4%	7%	43%	46%	11%	89%
	・特別支援コーディネーターを中心に、各学年の支援体制を整え、学校全体で報告・連絡・相談ができる体制をつくる。	0%	4%	48%	48%	4%	96%
	・特別支援教育についての研修会やその資料等を活用し、指導に生かせるようにする。	0%	7%	41%	52%	7%	93%
授業のユニバーサルデザインの推進	・授業のねらいをはっきりさせ、提示する。	0%	4%	54%	43%	4%	96%
	・授業の流れがわかる板書、適切な色を活用し、みんながわかりやすい展開をする。	4%	4%	71%	21%	7%	93%
	・必要最小限の掲示にとどめ、落ち着いた教室環境に努める。	0%	12%	73%	15%	12%	88%
病気・怪我・アレルギーなど個に応じた対応	・アレルギーや持病がある子どもたちについて、ケース会議や生徒指導連絡協議会などを通じて、共通理解を図る。	0%	0%	43%	57%	0%	100%
	・アレルギーや持病がある子どもたちについて、クラスごとにファイリングし、常時どの職員も閲覧できるようにし、活用する。	0%	8%	38%	46%	15%	85%



5		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
具体的取り組み事項							
安心して過ごせる学級づくり	・安全な教室環境を整える。	0%	0%	48%	52%	0%	100%
	・いじめ調査等を行い、個別の指導に生かし、いじめのない学級づくりに努める。	0%	4%	40%	56%	4%	96%
	・教師も子どももゆとりのある生活ができるよう努める。	0%	8%	73%	19%	8%	92%
校内の安全管理の徹底	・月1回、安全点検を行い、危険な個所がないか確認し、校内の安全管理に努める。	0%	0%	26%	74%	0%	100%
防災意識の高揚と避難行動の徹底	・学期に2回は、授業や朝の会、帰りの会等の時間の中で防災について取り上げる。	4%	4%	40%	52%	8%	92%
	・様々な事態を想定した避難訓練を行う。	4%	7%	30%	59%	11%	89%
美しい学校づくり	・清掃前や清掃中に放送や音楽を流し、各学級で意識していねいに清掃に取り組む態度を身に付けさせる。	0%	7%	63%	30%	7%	93%
	・ボランティア委員会が全校児童に呼びかけて、全校で校内の美化活動に取り組む。	0%	4%	58%	38%	4%	96%



6		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
具体的な取り組み事項							
積極的な教育活動の公開や情報発信	・HPを充実させる。(子どもたちの様子を写真とコメントで伝える。QRコードを活用する。)	0%	30%	56%	15%	30%	70%
	・学校だより(毎月)・学年だよりを発行して、学校と家庭との連携を図る。	0%	4%	41%	56%	4%	96%
	・掲示板に学習の様子や作品を展示する。	0%	7%	41%	52%	7%	93%
	・オープンスクールを広く知らせる。	0%	8%	42%	50%	8%	92%
地域教材や交流などの地域に根ざした教育活動の推進	・保護者や地域の方々をゲストティーチャーとして招聘する。年度初めに作成した「総合的な学習の時間」の年間計画や人材バンクの見直しを随時行う。	0%	15%	38%	46%	15%	85%
	・学習したことを、参観授業や「学年便り」「ホームページ」等で地域や保護者に発信する。	0%	19%	50%	31%	19%	81%
保護者・地域の声を大切にしたり学校づくり	・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートで実態を把握し、学校関係者評価により、改善策等の意見をいただく。	0%	11%	41%	48%	11%	89%
	・慈恵院、幼稚園、中学校、校区内の児童館や学童保育、デイケアセンター、交番などとの連携、交流を深める。	0%	4%	52%	44%	4%	96%
	・学校評議員会を複数回開く。	0%	9%	41%	50%	9%	91%
地域行事等への積極的参加奨励	・地域の行事(親子ゲーム大会、親子運動会、木工教室等)の案内を配布し、子どもたちに参加をすすめる。	0%	4%	72%	24%	4%	96%

